

# 東北大会 出場

## Yashima Branding Project 秋田県高等学校生徒商業研究発表大会 準優勝

本校では、2015(平成27)年度より、商業科の課題研究の授業で地元地域の活性化に関する活動を行っております。これまで商品開発や販売、木工クラフトショップ、SNSの開設などを行ってきました。3年前からは新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、これまでのような取組ができない中、地域に貢献できる方法を模索し、家族で遊びながら地元の魅力を学べる玩具を製作し地域の子もたちに提供してきました。昨年度は「鳥海山・飛島ジオパーク」の秋田版のすごろくを製作し、その研究成果を秋田県高等学校生徒商業研究発表大会で発表し、3大会連続の秋田県代表として東北大会に出場することができました。これからも、身近な地域の課題に対して積極的に取り組んでいきたいと思っています。



東北大会でも堂々と発表しました



東北大会出場にあたり矢島高校を応援する会(佐藤成孝会長)よりお餞別をいただきました。

### 編集後記

PTA会報「矢城」第107号をお届けします。お忙しい中寄稿していただきました皆様にお礼を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今学期もさまざまな行事などの変更を余儀なくされております。そのような状況におかれても、生徒・教職員は今やれることを精一杯にという思いでやっております。これからも様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

### 学校運営協議会 活動報告

10月24日(月)、矢島高等学校において第2回学校運営協議会が開催されました。各WG(ワーキンググループ)から今年度の活動について報告していただき意見交換を行いました。

主な話題としては、

- これまでのボランティア活動について
- 魅力を中学生とその保護者、地域の人々に伝えるための方策
- YBP(やしまブランディングプロジェクト)について
- Y\_Tube(わいちゅ一部)の作成について
- 伝統文化継承保存に関わることについて
- 自然環境保護に関することについて
- 保護者負担軽減策としての給食提供の検討について

以上のような話が挙がりました。

その後、やしまブランディングプロジェクトの東北大会の報告とビデオ上映を行いました。

今後さらに、各WGで検討を進め、第3回学校運営協議会では、その報告と今年度の活動の総括を行い、次年度以降の活動につなげていく予定です。



発行：令和4年12月21日(水)  
秋田県立矢島高等学校PTA  
広報委員会  
印刷：(株)本間印刷所



左上 1年生による鳥海探究Iの発表  
右上 2年生による坂之下番楽披露  
左下 3年生有志のステージ発表  
中央 中高吹奏楽部の演奏  
右下 やしまブランディングプロジェクトのジオパークすごろく販売



## 爽 ～一人一人が輝けるステージへ～

10/15(土)  
矢高祭

### 学校とPTAの繋がりを強めて

PTA会長 佐藤由香



まもなく2学期が終わろうとしている中、感染症対策を講じながら様々な学校行事を行い、生徒の皆さん一人一人が協力し、一致団結することで学校行事を盛り上げ、一つのことを成し遂げる大切さを学んだと思います。また、校外行事の時間では、矢島小学校の児童と一緒に「ひまわりプロジェクトボランティア」に参加をしたり、地域の方に矢島町の歴史や郷土芸能などを学び、矢高祭で披露する機会を設けたりすることで、郷土芸能に関心を示すきっかけとなったことと思います。この機会を通して、ボランティア活動にも関心を持ってもらいたいと思います。新型コロナウイルス感染拡大も第8波に突入し、未だ先行きが見通せない不安の中で、これまで通りの感染症対策を講じながら、生徒の皆さん一人一人が自分の将来に向けて、学習や部活動、そして地域との関わりを充実させ、今後も地域の活性化に貢献して行ってほしいと思います。

これから3学期を迎えるにあたり、1・2年生にとっては進路活動に向けて、大切な時期になってきます。また、3年生にとって、進学や就職など自分の将来が決まっている生徒もいると思いますが、残り少ない学校生活を充実したものにしてもらいたいと思います。これまで通り、生徒の皆さんが明日も学校に行きたいと思えるように、PTAと学校が連携し、一人ひとりを大切に、安心安全な環境の中で学校生活を過ごしてもらいたいと思いますので、先生方、保護者の皆様のご理解、ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

# 2学期の矢高生



↑獅子ヶ鼻湿原散策(1年)



↑茶道教室(1年)



↑テーブルマナー講習(3年)



↑地域の方の講話(2年)



↑全校クリーンアップ



↑鳥海探究IIの中から(2年)



↑ジオパークオンライン講座(3年)

## コロナ禍の青春

校長 武蔵美佳

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より御礼申し上げます。コロナ禍の中で迎えた令和4年度ですが、6月の体育祭実施後、7月中旬以降に秋田県の新型コロナウイルス感染者が急増したため、中高合同鳥海山登山を中止せざるを得なくなりました。8月も感染者が高止まりの状態です。2学期がスタートしましたが、10月の矢高祭は感染防止に留意しながら開催することができました。入場者数を制限しての開催ではありましたが、鳥海探究・番楽・吹奏楽部等のステージ発表や各クラス・委員会・教科等の工夫を凝らした展示は、来校していただいた多くの保護者の皆様にも好評でした。そして、11月の修学旅行は3年ぶりに関西方面へ行くことができ、2年生にとって良い思い出となったようです。

さて、12月1日に今年の新語・流行語大賞が発表され、夏の甲子園で東北勢として初の優勝を果たした仙台育英高校野球部の須江監督が優勝インタビューで発した「青春って、すごく密なので」が選考委員特別賞を受賞しました。「密」という言葉は、避けるもの、よくないものだというふうに使われてきたコロナ禍。「ダメだ、ダメだ」と密になる活動を制限される中でも諦めないで頑張っている全国の高校生を称える言葉でもありました。2023年もウィズコロナの状況は続くと思われませんが、生徒一人一人がさらに充実した学校生活を送れるように、教職員一同、努力してまいります。保護者の皆様には、今後とも御協力の程、よろしくお願いたします。



# 2年生修学旅行 11/1~11/4



## 朝のあいさつ運動

地域のコミュニケーションの活性化を図り、豊かな人間関係と住みよい生活環境を築くため、PTA校外委員会を中心に生徒会生活安全委員会と一緒に実施しております。今学期は、9月~11月まで登校時あいさつ運動を3回実施しました。ご協力いただきました保護者の皆様ありがとうございました。



## これまでの部活動の活躍

新型コロナウイルス感染症の拡大防止にともない、学校での部活動はガイドラインを設けて実施しております。7月以降の大会結果等をご紹介します。

### バドミントン部

11月24日(木)から行われた秋田県高等学校新人大会男子II部ダブルスにおいて、1年生の武田翔・高橋未来矢ペアが第3位という成績を収めました。



### 吹奏楽部

7月8日(金)に行われた全日本吹奏楽コンクール秋田県中央地区大会中高合同の部において、銀賞を受賞しました。また、矢中祭・矢高祭・定期演奏会・吹奏楽祭・地域応援フォーラムで演奏し、聴衆から大きな拍手をいただくことができました。

